

地域学校協働連携NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



SDGs講座 ～只見町立只見中学校～

9月1日(月)、只見中学校で取り組んでいるESD(持続可能な開発のための教育)の一環として、生徒が講師となって町民に向けて行ったSDGs講座を取材しました。

SDGs委員会が中心となり、有志の生徒も講師として参加して、前半はSDGsの概要や只見中学校の取組についての説明、後半は只見中学校で取り組んでいる新聞エコバッグ作りの体験を行いました。「SDGsの実践は大きな活動に感じていましたが、身近なことからできるということを知ることができて良かったです。」などの地域住民の声が聞かれました。



<只見中学校生徒から>

1・2年生の時から新聞紙エコバッグを作ってきて、もっとSDGsについて知りたい、貢献したいという思いからSDGs委員会に入りました。

SDGs(エスディージーズ)とは…

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略で、2030年までに世界が達成すべき17の国際目標です。地球規模の課題に直面する中で、誰一人取り残さない持続可能な世界を実現することを目指しています。



<只見町中央公民館長から>

中学校での学びを地域に広げていくために、公民館としても協力していきたいと思います。

中学生も、SDGsに向けた取組がこれほどいいのか、地域の人と話し合いながら考えていってほしいと思います。

今回の講座は、「みんなが行きたくなる只見中学校」を掲げる学校の方針、「全国でも有名な只見中学校のSDGsの取組ではあるが、地域住民である私たちはSDGsについてあまり知らない。」という町民の声から、只見町の公民館と連携して開催したそうです。

只見中学校では、夏休み中に生徒も参加して学校運営協議会を行ったとのことでした。子供たちも交えた地域との協議によって、「自分たちの学びが地域に貢献できる」「地域の人たちは自分たちを応援してくれている」と感じた子供たちの自己有用感や自己肯定感が高まるとともに、地域での学びや活動も充実していくということを感じました。

只見中作製の新聞エコバッグ⇒

